

Ross Davies

Akai Professional
01252 896032
pressrelations@akaipro.com

情報解禁日 2020年5月6日午前0時

MPCはMIDIシーケンサー・スタジオの中心となります。

MPC 2.8ファームウェア/ソフトウェアによりMPC Live、MPC X、MPC Oneを含む
MPC製品ラインナップ全体にMIDI Multi機能を追加

パフォーマー及びプロデューサー向けの音楽機器メーカーAkai Professionalより本日、ハードウェア/ソフトウェア・エコシステム「MPC Software」の最新アップデート「MPC 2.8」を発表します。

シンセエンジンからスタートし、ミキシング及びマスタリングFXを追加したソフトウェア・スイートに、さらにそこからWi-Fiを使用したAbleton LiveとSpliceの統合に加えて、オートメーション機能が大幅に強化されるなどMPCは進化し続けています。MPC 2.8ではMIDI Multi機能によりMPCがMIDIシーケンサー・スタジオの中核へと変身します。

MIDI Multi機能

MPC 2.8によりMPCのI/O機能が大幅に強化されるため、クラス準拠のUSBキーボード、MIDIインターフェース、USB to CVモジュールを含むスタジオ内のさまざまなMIDI機器を同時に接続してルーティングすることが可能になります。これにトラック間の内部MIDIルーティング機能、MIDI互換シンセサイザー、ドラムマシン、サウンドモジュールの包括的なMIDIルーティング、マルチトラック・レコーディング機能を組み合わせることで、MPCを制作の中心に据えることができます

MPC 2.8のその他の注目すべき機能強化:

- タイミング補正 (TC) は、TCディビジョンのパラメーターとは別にオン/オフ設定を追加しました。
- スタンドアローンMPCファームウェアから、任意のプログラム・タイプ用のノート・マッピングをカスタマイズできるようになりました。
- レトロスペクティブ・レコード - MPCはバックグラウンドでMIDIイベントを記録、ユーザーのひらめきを逃しません。
- Q-Linkオーバーレイ - MPC LiveまたはMPC Oneで、タッチ・キャパシティブQ-Linkにタッチするとコントロール中のパラメーター及びその値がタッチ・ユーザー・インターフェース上で視覚的に確認できます。
- さらにカスタムPad Performコード・プログラミングやTrack選択をクリックタップでできるようになるなどワークフローの強化が多数施されています。

「MPCソフトウェアはリリースを重ねるごとに、スタンドアローンにおける音楽制作のエコシステムを再定義してきました」Akai Professionalシニア・プロダクト・マネージャー、ダン・ギルは述べています。「MPC 2.8はMPCの伝統的なワークフローを次のレベルに進化させます。MPCはスタジオに追加する単なる機材ではなく、あなたのスタジオの中心となるものです。ワークフローを切り替えたいときも、スタンドアローンでクリエイティブな世界に浸りたいときにもMPCはその期待に応えます」

MPC 2デスクトップ/MPC Live/MPC X/MPC OneユーザーはMPC 2.8を5月15日午前0時より無償でダウンロードしていただけます。

既存のMPC V1ソフトウェアユーザーの方は99.99ドルでアップグレード可能です。新規ご購入の方は199.99ドルでお求めになれます。

MPC 2.8 の詳細については、akaipro.com をご覧ください

#

Akai Professionalについて

音楽制作機器メーカーAkai Professionalは音楽制作に携わる人々に向けた 創造的なテクノロジーの開発を行なっています。Akai Professionalは伝説的なMPCを開発、これにより新しいジャンルの音楽を生み出し、何世代にもわたり音楽制作者やパフォーマーに影響を与え続けてきました。Akai ProfessionalはinMusicが擁する楽器ブランドの一つです。